



2025年6月25日

デジタルチケット普及やサービス拡充などで MaaS 利用が年間 19 万人を突破！ エリアマネジメント「newcal」KPI 大幅達成で目標を上方修正 地域と共創する移動と滞在のパッケージサービス「EaaS」実現に向け大きく進捗

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，取締役社長：川俣 幸宏，以下 京急電鉄）は，京急グループ総合経営計画（沿線価値共創戦略）に基づく京急沿線エリアマネジメント構想「newcal（ニューカル）プロジェクト」において，2024 年度の沿線まちづくりに関する目標値（KPI：重要業績評価指標）を，MaaS（Mobility as a Service，モビリティ・アズ・ア・サービス）の実績を中心に大幅に達成したことをお知らせいたします。

これは，地域住民や事業者，自治体など多様な主体との共創を通じて，沿線価値の最大化を目指す newcal プロジェクトの取り組みが着実に成果を上げていることを示すものです。目標実績の伸長を受け，2026 年度までの第 20 次総合経営計画終了時点の KPI 達成目標を大幅に上方修正いたします。

【2024 年度 主要 KPI の達成状況】

newcal プロジェクトでは，「①組織化」「②地域拠点整備」「③MaaS 整備」「④モビリティ整備」の 4 つの共創活動に関する KPI を設定し，進捗を管理しています。2024 年度の目標に対し，特に MaaS 分野での大幅な進捗を筆頭に，すべての分野で目標を達成いたしました。

分野	KPI 項目	2024 年度実績	修正目標（2026 年度末）
①組織化	エリアマネジメント組織（newcal ファミリー）参加団体数	実績：375 団体 目標：360 団体 【達成率 104%】	400 団体 ↓ 上記に加え エリア別定性目標を追加
②地域拠点/ 地域事業整備	地域連携で整備した拠点や事業数（累計）	実績：20 拠点 目標：20 拠点 【達成率 100%】	30 拠点/事業 ※変更なし
③MaaS 整備	MaaS を通じた予約・決済客数（年間）	実績：190,858 人 目標：130,000 人 【達成率 147%】	150,000 人 ↓ 300,000 人（200%上方修正）
	MaaS 登録会員数	実績：242,337 人 目標：150,000 人 【達成率 162%】	200,000 人 ↓ 600,000 人（300%上方修正）
④モビリティ整備	整備したシェアモビリティポート数（累計）	実績：136 ポート 目標：110 ポート 【達成率 124%】	150 ポート ↓ 200 ポート（133%上方修正）

京急グループは，今後も newcal プロジェクトにおける 4 つの共創活動を通じ，地域課題の解決に取り組むことで，沿線価値共創戦略における地域と共創する統合サービス「EaaS（イアース，ENSEN as a Service）」の実現に取り組んでまいります。詳細は別紙のとおりです。

newcal プロジェクト「4つの共創活動」KPI 達成状況の詳細

1. 組織化（仲間づくり）

京急沿線の地域課題に対し、事業者、自治体、教育機関など各団体がゆるやかに連携するエリアマネジメント組織「newcal ファミリー」や、京急沿線で子育て支援活動に取り組む団体をつなぐ子育て応援ネットワーク「Weavee」などの活動を通じ、それぞれの活動をつなげ、まちづくりに取り組む輪が広がっています。

newcal ファミリー



KPI 項目	2024 年度実績	主な実績、取り組み事例	修正目標 (2026 年度末)
エリアマネジメント組織（newcal ファミリー）参加団体数	実績:375 団体 目標:360 団体 【達成率 104%】	・地域事業者、おトクなきっぷ加盟店、自治体、大学が参加 ・Meetup イベントの開催 ・子育て応援ネットワーク「Weavee」も 33 団体が参加	400 団体 ↓ 上記に加えエリア別定性目標を追加

【事例】京急沿線活性化コミュニティ「newcal ファミリー」(375 団体)

地域事業者をはじめ、自治体・サポート企業・教育機関・スタートアップ・企画乗車券加盟店舗など多様な主体が参画し、ゆるやかな連携を通じた地域コンテンツの開発により、「住/働/楽/学」がそろった沿線を共創する活動を展開しています。

地域事業創出のアイデアを出し合い、繋がりを作る場として、交流イベント「newcal ファミリーMeetup!」を3回開催しました。



newcal ファミリーMeetup!

【事例】沿線各エリアでの地域ワークショップを通じたまちづくり組織化

沿線エリアごとに異なる地域課題の解決に向け、オープンスペースの設置や活性化事業の検討などを目的としたワークショップやタウンミーティングを地域とともに実施し、まちづくりの担い手育成やまちづくり法人化を目指しています。



じわじわ、へいわじま！
平和島妄想シティトーク
【おおた newcal】



ロックカクのたのしい活用アイデア
と安心な運営を考えるカイギ
【横浜 newcal】



DONDON南太田を盛り上げるカイギ
【横浜 newcal】



屏風浦駅前の「ソト」を
空想するカイギ
【上大岡 newcal】



富岡・能見台の丘と緑の
まちづくり（おかまち）
【かなざわ newcal】



三浦海岸駅前ひろばを
空想するカイギ
【三浦 newcal】

【事例】京急沿線子育て応援ネットワーク Weavee (33 団体)

京急沿線の子育て環境向上を目指して活動する様々な団体が繋がることで、新たな地域事業の創出を目指す組織「京急沿線子育て応援ネットワーク Weavee」を、2023 年 5 月に開設しました。

子育て情報を発信する「Weavee ポッドキャスト」を毎月配信しているほか、子育て世代を地域ライターとして育成する「Weavee ライター講座」や各エリアでの「Weavee マルシェ」開催などに取り組んでいます。



こどもまんなか京急沿線フェスタ

2. 地域拠点/地域事業整備（場所づくり，事業づくり）

newcal ファミリーや地域で事業を行いたい方々同士と、空き家、空き店舗、遊休地といった地域資産とのビジネスマッチングなどに取り組んでいます。地域にスモールビジネスをつくる活動を通じた自発的なエリアリノベーションにより、まちに「住む，働く，楽しむ，学ぶ」居場所をつくります。

newcal スポット

KPI 項目	2024 年度実績	主な実績，取り組み事例	修正目標 (2026 年度末)
地域連携で整備した拠点や事業数（累計）	実績:20 拠点 目標:20 拠点 【達成率 100%】	・ 地域交流拠点を 5 か所に開設 ・ 地域による宿泊，飲食店開業 ・ 日テレ等との地域事業 JV	30 拠点/事業 ※変更なし

【事例】地域交流拠点の開設と運営を通じたにぎわい創出

地域に開かれた交流拠点やオープンスペースの整備を通じて、これまで駅前に見られなかったマルシェやイベントなど、自然発生的なにぎわいの創出やまちへのしみ出しが生まれています。地域や拠点ごとに手法はそれぞれですが、コミュニティマネージャーなど地域に関わるメンバーと共同で運営を行い、コミュニティ拠点構築を目指しています。



平和島駅前地域交流拠点（展開終了）【おおた newcal】



ParkLine870（パークラインはっちょう）【川崎 newcal】



みんなのひろば 黄金町ロックカク【横浜 newcal】



屏風浦つながるステーション B【上大岡 newcal】



よりみちガーデン【かなざわ newcal】



三浦海岸駅前交流拠点（名称未定）【三浦 newcal】

【事例】地域による古民家を活用した分散型ホテルとの共創

ミウラトラスト(株)，地域経済活性化支援機構(REVIC)，京急電鉄，三浦市，(株)横浜銀行は，地域が主体となって行う三浦市の地域資源を活かした観光コンテンツ開発と運営支援を目的に，連携協定を締結しています。

5 者が，地域事業者が主体となって推進する事業を支援し，三浦市三崎地区に古民家ホテルを 7 館 10 室順次開業，好調に推移しています。



三浦半島の旅宿【三崎宿】

【事例】三崎地区でのクラフトビールブルワリー創業支援

クラフトガレージ代表の小松氏が、欧米都市への海外赴任時に地元ビールによる交流が生まれていることに感銘を受け、「三浦半島にも地元ビールによるコミュニティを定着させたい」という思いに三浦newcalとして連携、創業支援を行いました。三浦市内初のクラフトビールブルワリーの開設を目指し、約1年半の間、出店先の確保や販促計画の立案などに共同で取り組みました。



三浦市初のブルワリー

【MIURA brewery】

【事例】日本テレビ・さとゆめとの地域創生 J V

「三浦半島まちづくりプロジェクト」

三浦半島地域に根差した京急電鉄、キー局として地方にネットワークを持つ日本テレビ、地域創生事業で実績のあるさとゆめの3者が業務提携契約を締結し、三浦半島地域を舞台に地域課題の解決を目指した事業を検討しています。

2024年10月には、日本テレビによる地域WEBメディア「地元良品 journey」が開始され、三浦半島の魅力を発信しています。



地域メディア

「地元良品 JOURNEY 三浦半島編」

3. MaaS 整備

地域の「移動」と「住む・働く・楽しむ・学ぶ」を、スマートフォンなどによりワンストップで利用できるMaaS (Mobility as a Service) に取り組んでいます。

newcal MaaS

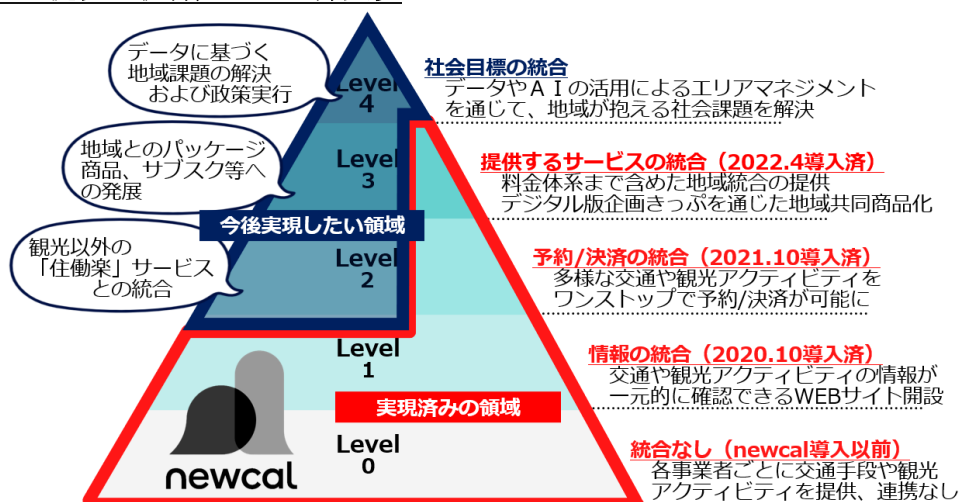
地域や京急グループのサービスを「ひとつのWEBサービス」として、都内から三浦半島まで、多様な場所での滞在や移動をパッケージ化し、地域全体であたらしい生活基盤を共創します。

KPI 項目	2024 年度実績	主な実績, 取り組み事例	修正目標 (2026 年度末)
MaaS を通じた予約・決済客数 (年間)	実績: 190,858 人 目標: 130,000 人 【達成率 147%】	- きっぷデジタル化率の伸長 - 対象施設の拡大 - シェアオフィス会員統合 - デジタルスタンプラリー機能	150,000 人 ↓ 300,000 人 (200%上方修正)
MaaS 登録会員数	実績: 242,337 人 目標: 150,000 人 【達成率 162%】	- デジタルスタンプラリー機能 - データ分析基盤導入 - マルチモーダル経路検索強化 - ローカルメディア連携	200,000 人 ↓ 600,000 人 (300%上方修正)

【事例】MaaS レベル3 (サービス提供の統合) まで一部実現

MaaS サイト「newcal」は、国土交通省「日本版 MaaS 推進・支援事業」に2021年度から4度選定されるなど、段階的に機能の拡充を進めています。

デジタルきっぷによるパッケージ化を通じた地域との共同商品化など、MaaS レベル3 (サービス提供の統合) までを一部実現しています。



※出典：チャルマース工科大学（スウェーデン）「MaaSレベル」を基にnewcalプロジェクトとして作成

【事例】おトクなきっぷ（地域共同商品）のデジタル化率が

63.6%に到達（MaaS レベル 3）

「みさきまぐろきっぷ」などのおトクなきっぷがデジタルチケットとして購入可能となり、既に三浦半島 4 券種合計でデジタル化率が 63.6%に到達（2024 年度）し、利用データの活用が進んでいます。

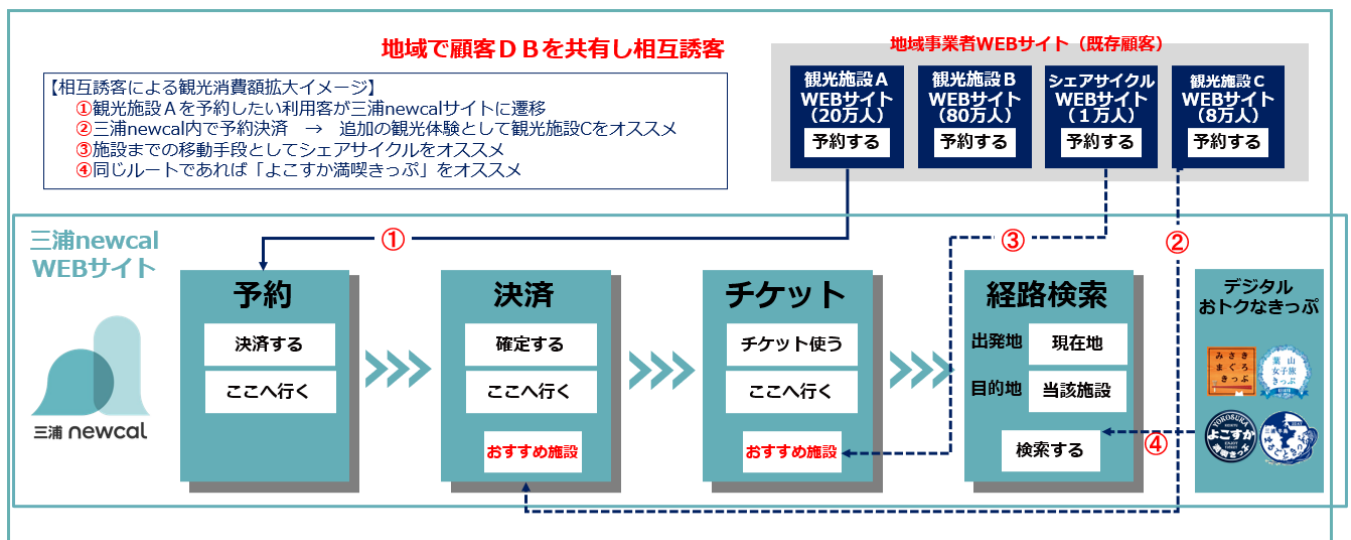
需要データに基づき料金変動する「ダイナミックプライス」や、地域から需要の多い「デジタルスタンプラリー」など、多様な機能も順次開発、導入しています。



デジタルみさきまぐろきっぷ

【事例】地域共通の予約/決済プラットフォームとして地域各施設が活用（MaaS レベル 2）

地域共通の予約、決済プラットフォームとして提供、地域全体で顧客基盤を共有することで、地域経済の拡大を目指しています。交通機関だけでなく、年間数十万人が利用する観光施設やアクティビティ、シェアオフィスなども利用可能となっており、将来的な地域統合サービスの基盤として整備を進めています。



4. シェアモビリティ基盤の整備

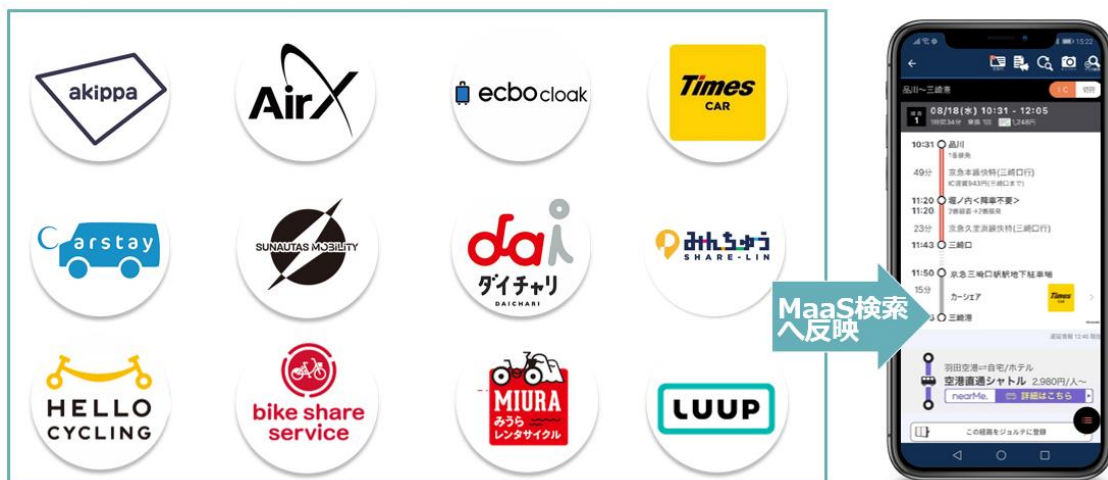
生活圏における駅から先の 2 次交通や、高齢化が進む地域の足としての新モビリティ、乗ること自体が楽しみな観光型モビリティなど、多様なモビリティを整備する活動を「newcal モビリティパッケージ」として、newcal ファミリーとともに進めています。拠点拡大を通じ、地域における移動の課題を解決し、将来のモビリティ先進地域となることを目指しています。

newcal モビリティパッケージ

KPI 項目	2024 年度実績	主な実績, 取り組み事例	修正目標 (2026 年度末)
整備したシェアモビリティポート数 (累計)	実績: 136 ポート 目標: 110 ポート 【達成率 124%】	・高架下等の未利用区画活用 ・県共同キャンペーン実施 ・ドコモ・バイクシェア, Luup との連携協定締結	150 ポート ↓ 200 ポート (133%上方修正)

【事例】駅周辺やまちなかへのシェアモビリティ共同設置「newcal モビリティパッケージ」

newcal ファミリー等が展開するシェアモビリティ事業の拠点（貸出ポート）を共同で開設しています。
 ※駅・高架下等の社有地、地域店舗、公園等の近隣用地に新設したポート情報を MaaS 検索へ反映することで、利用しやすい環境を整備し、草の根的な拠点開発を通じて、京急沿線のモビリティ先進地域化を目指します。



【事例】他社との連携など地域交通コンソーシアムの組成

2024 年に、(株)ドコモ・バイクシェアおよび(株)Luup それぞれと、モビリティ拡充を通じた沿線価値向上に関する連携協定を締結、横浜地区では両者をはじめ鉄道、シェアモビリティ、水上交通など交通事業者 7 者などから構成される「関内関外都市交通ネットワーク」を組成し、将来的な MaaS 連携を想定した地域全体でのポート設置などに取り組みました。

また、三浦半島エリアでは、神奈川県および(株)サンオータスと、脱炭素に向けた 3 者連携協定を締結し、電動モビリティや MaaS の普及啓発・利用促進に共同で取り組んでいます。

docomo
bike share

LUUP

シェアモビリティ 2 社と
それぞれ連携協定を締結



関内関外都市交通ネットワーク
の設立と共同でポート設置提案



神奈川県・サンオータスと
三浦半島での 3 者連携協定を締結

【事例】各エリアでの地域交通実証の推進

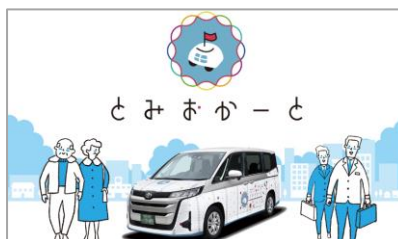
地域が抱える様々な交通課題の解決や低炭素型交通の確立に向け、グリーンスロモビリティ（時速 20km 未満で公道を走ることができる小型電動車）の導入を進めています。横浜エリアでは、ガイド付きツアーを実施するなど、観光コンテンツとしての事業化に向けた実証を進めています。

また、横浜市金沢区では、急勾配な坂道や道幅の狭い道路が多く、バス停や駅へのアクセスが容易でない地域がある京急富岡エリア住宅地において、2018 年から地域交通「とみおかーと」の実証実験を実施、今後の実装に向けて行政、地域と取り組みを進めています。

これら地域交通の運行ノウハウを基に、LocaliST(株)と共同で「地域モビリティプロデューサー」事業として、神奈川県、品川区、箱根町など他地域へのモビリティサービス構築支援などのコンサルティング事業も開始しています。



グリーンスロモビリティによる
ガイド付きみなとみらい関内地区観光ツアー



京急富岡エリア地域交通「とみおかーと」

京急沿線エリアマネジメント構想「newcal プロジェクト」について

1. 開 始 日 2024 年 3 月 14 日 (木)
2. 名 称 京急沿線エリアマネジメント構想「newcal (ニューカル) プロジェクト」
3. 名称の由来 「New」 + 「Local」

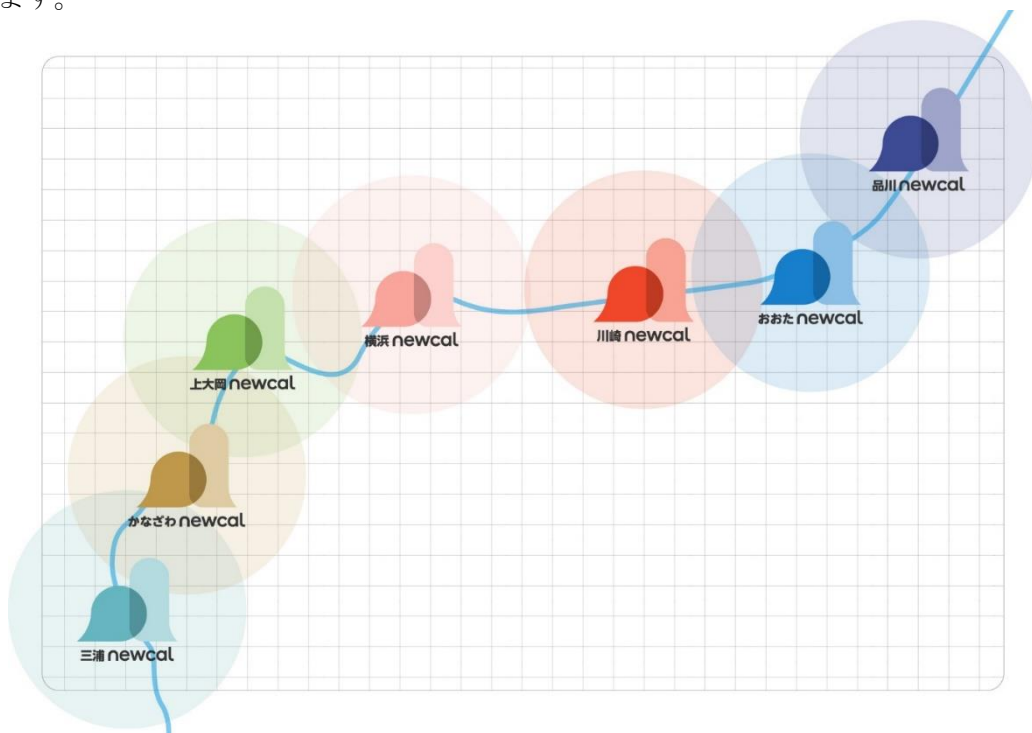
新しいローカル (Local) のあり方を地域の方々と一緒になって生み出し、その地域ならではの新しい魅力を発見 (New な発見) し、より多くの人に届けていく構想です。

「Local」のあり方が今後も注目される中、京急グループがその「新しい Local」のあり方を、エリアマネジメントによって見出していく意思も込めています。

また、「ニューカル」という響きは、「new culture = カルチャー」を感じさせ、その地域ならではの新しい文化を地域の方とともに生み出していく想いも込めています。

4. 目 的

京急グループ総合経営計画「沿線価値共創戦略」において重視する、地域との連携を具体化する 4 つの共創活動の「組織化」「地域拠点整備」「MaaS 整備」「モビリティ整備」の推進を通じた将来像として、デジタル基盤とともに沿線地域が一体となったサービス「EaaS (ENSEN as a Service)」の構築を目指します。



沿線 7 つのエリアで newcal の共創活動を展開

「EaaS」(イアース)について

1. 名称

EaaS (イアース) ※“ENSEN as a Service” (エンセン アズ ア サービス) の略称

2. 概要

newcal プロジェクトの4つの共創活動を複合的に連携させ、特に MaaS レベル3まで一部実現した MaaS サイト「newcal」をデジタル基盤の中核とすることで、京急グループと地域事業者のあらゆる生活サービスを統合し、ワンストップで提供するサービスとして位置づけています。

EaaS を通じ、京急グループは「ローカルプラットフォーム」として、沿線における「移動」と「住む・働く・楽しむ・学ぶ」という「暮らし」を統合していくことで、多極型まちづくりにおける新しい価値を創出します。

3. 具体的なサービスイメージ (EaaS により実現するシームレスな沿線体験)

MaaS サイト「newcal」を通じ、京急グループや地域が提供する多様な移動、生活サービスなどを予約、決済、デジタルチケットなどを同一IDでワンストップに利用できる環境を構築します。

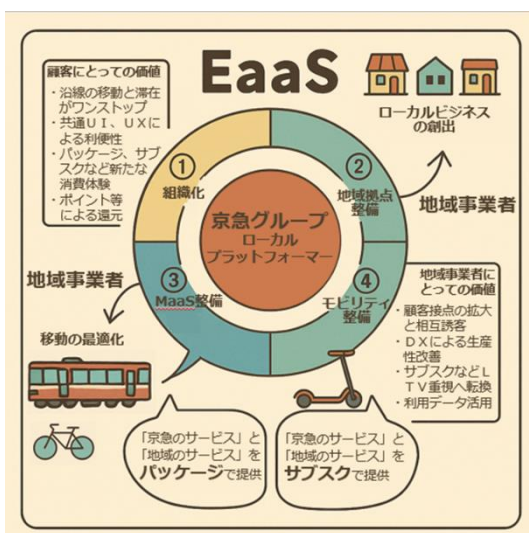
このデジタル基盤をさらに活用し、パッケージ(セット販売)、さらにはサブスクリプション(定額制)モデルとして提供していくことも目指しています。これにより、地域とともに新たな移動や滞在の需要を共同で創出し、顧客生涯価値(LTV)重視型のビジネスモデルへの進化を目指します。

4. お客さま視点での EaaS がもたらす価値

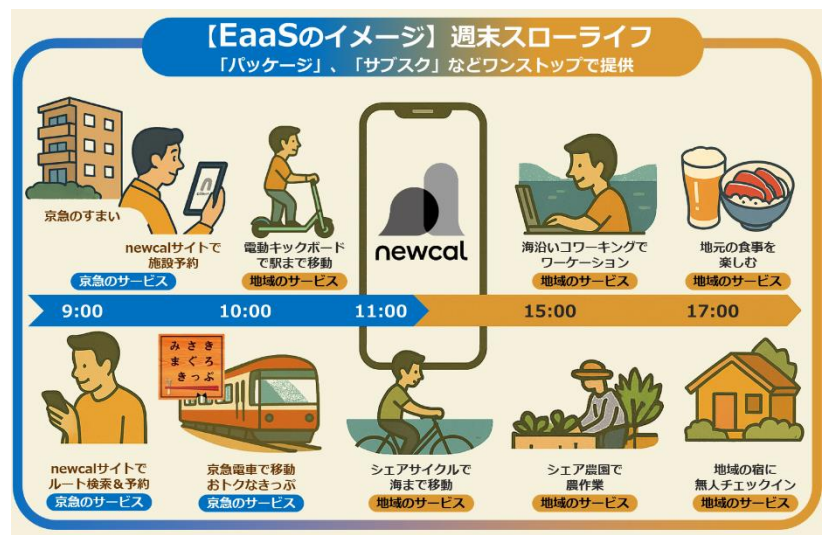
MaaS サイト一つで、電車、バス、シェアモビリティなど沿線での移動から、コワーキング施設、宿泊施設、地域体験など滞在サービスまでが一連のパッケージ商品のように利用できるほか、それらがパッケージ型やサブスクリプション型で利用可能となるなど、これまで分断されがちだった様々な事業者による別個のサービスがシームレスにつながり、利便性の高い新しい体験を得ることができます。

5. 事業者視点での EaaS がもたらす価値

デジタル基盤の活用による生産性向上(DX)、顧客生涯価値(LTV)を重視した収益構造への転換、MaaS を通じて蓄積されるデータの活用によるマーケティング強化といった価値がもたらされます。これにより、顧客接点の拡大や相互誘客が期待できるなど、沿線経済全体の活性化に貢献します。



【イメージ】EaaS の価値創造モデル



EaaS が実現するカスタマージャーニー「三浦半島週末スローライフ」